

# 定格・付属品

## ■定格

電源：AC100V 50/60Hz  
消費電力：75W (ケーブル100m、5"EVF使用時)  
映像入力：1.0V(p-p)コンポジットY信号/75Ω  
0.3V(p-p)バーストレベルクロマ信号/75Ω (32P RCUコネクタ)  
映像出力1：1.0V(p-p)NTSCコンポジット/75Ω (BNCコネクタ)  
映像出力2：1.0V(p-p)NTSCコンポジット/75Ω (BNCコネクタ)  
S-VHS映像出力：1.0V(p-p)コンポジットY信号/75Ω  
0.3V(p-p)バーストレベルクロマ信号/75Ω (4P S-コネクタ)  
ゲンロック入力：1.0V(p-p)NTSCコンポジットまたは  
ブラックバースト/75Ωスルー (BNCコネクタ)  
サブキャリア位相調整：360°以上調整可能  
水平位相調整：-0.1μs～+3.0μs調整可能

## ■付属品

4Pコネクタ(タリ-/インターカム用).....1

ラインビュ-入力：1.0V(p-p)NTSCコンポジット/75Ω スルー (BNCコネクタ)  
ケーブル最大延長距離：約100m (ケーブル補償選択：100m)  
スイッチ機能：電源スイッチ、カラーバー/カメラ/電子シャッター切換、ゲインアップ選択、カメラケーブル補償、輪郭補正ON/OFF、オート/マニュアル選択、オートセット、サブキャリア位相切換  
調整機能：R・Bゲイン、R・Bベテスタル、トータルベテスタル、サブキャリア位相微調整、水平位相、Yゲイン微調整、クロマゲイン微調整、インターカム音量、レンズ絞り  
使用温度範囲：-5℃～+45℃  
寸法：209(幅)×90(高さ)×281(奥行)mm  
質量(重量)：約4.3kg  
仕上げ：パネル：AVアイポリ-塗装 (マンセル7.9Y6.8/0.8 近似色)  
カバー：ダークグレー塗装 (マンセル7.5Y5/1 近似色)

# 保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は...  
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

- 修理はサービス会社・販売会社の「修理相談窓口」へ!

## ■保証書(別添付)

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのと、大切に保管してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

## ■修理を依頼される時

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- 保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

- 保証期間を過ぎているときは  
修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お買い上げ年月日	年	月	日	品番	WV-RC37
販売店名				電話	( ) -

松下電器産業株式会社  
松下通信工業株式会社 放送システム事業部  
〒224 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎(045)932-1231(大代表)

N0789-2076

V8QA1894CN

上手に使うって上手に節電

# Panasonic

# リモートコントロールユニット

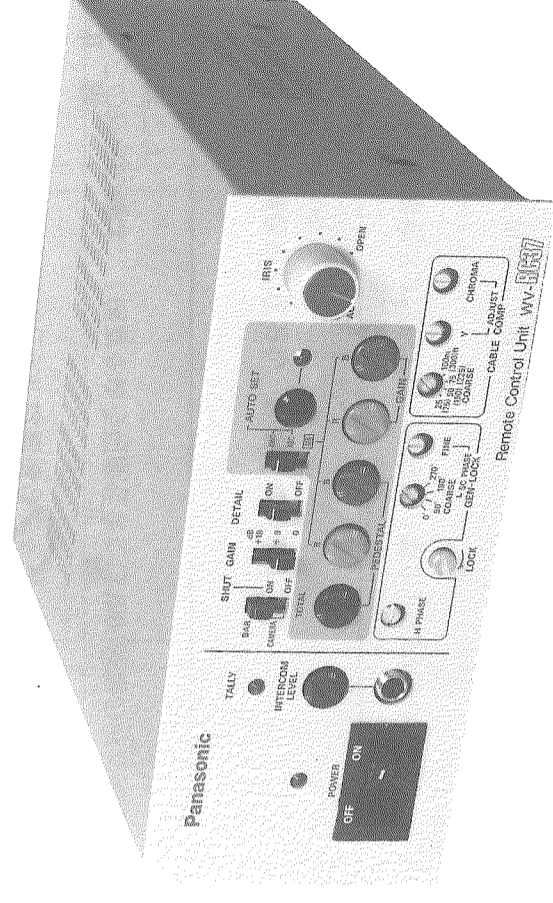
## 品番 WV-RC37

## 取扱説明書

■この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
そのあと大切に保存し、必要なおきに読み取ってください。

■保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付



このたびは、パナソニック リモートコントロールユニットをお買い上げ  
 いただきまして、まことにありがとうございます。

# 目次



安全上のご注意	1	●ブラックバランス調整	9
概要	1	●トータルペデスタル調整	9
使用上のお願い	2	●ゲンロック調整	10
各部の名称と働き	3~5	ラックマウントへの取り付けかた	10
接続のしかた	6	定格・付属品	裏表紙
操作のしかた	7	保証とアフターサービス	裏表紙
調整のしかた	8~10		
●ホワイトバランス調整	8		

# 安全上のご注意



必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明  
 しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	<b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	<b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」 内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
 (下記は絵表示の一例です。)


	このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

# 安全上のご注意

必ずお守りください


## 警告

**工事は販売店に依頼する**

 工事には技術と経験が必要で、火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。


●必ず販売店に依頼してください。

**異物を入れない**

 水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

●ただちに電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。


**分解しない、改造しない**

 火災や感電の原因となります。

分解禁止


●修理や点検は販売店にご連絡ください。

**異常があるときは、すぐ使用をやめる**

 煙が出る、臭いがする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災の原因となります。


●ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

**不安定な場所に置かない**

 落下などでけがの原因となります。


禁止

**電源コードを熱器具に近づけない**

 コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となります。


禁止

**電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く**

 コードが傷つき、火災や感電の原因となります。


●抜くときは電源プラグを持って抜いてください。

**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない**

 感電の原因となります。

禁止

**電源コードを傷つけない**


 重いものをのせたり、はさんだりするとコードが傷つき、火災や感電の原因となります。

禁止

●修理は販売店にご連絡ください。

## 注意

**通風孔をふさがない**

 内部に熱がこもり火災の原因となります。

禁止

# 各部の名称と働き

## 前面

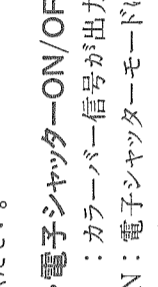
- ① 輪郭補正ON/OFFスイッチ (5ページ参照)
- ② ゲインアップ選択スイッチ
- ③ カラーバー・電子シャッターON/OFFスイッチ
- ④ タリールー
- ⑤ 電源表示LED
- ⑥ 電源スイッチ
- ⑦ インターカム音量つまみ
- ⑧ インターカムコネクタ
- ⑨ ロックつまみ
- ⑩ レンズ絞り調整つまみ

- ⑪ 輪郭補正ON/OFFスイッチ [DETAIL]  
ONの場合：輪郭がくっきりし、シャープな画像が得られます。  
OFFの場合：輪郭が消えます。
- ⑫ ゲインアップ選択スイッチ [GAIN]  
通常は「0 dB」の位置でお使いください。  
暗い場所を撮影し、レンズ絞りを開放にしてもなお十分な映像出力が得られない場合は「+9 dB」または「+18 dB」の位置にしてください。
- ⑬ カラーバー・電子シャッターON/OFFスイッチ [SHUT]  
BAR : カラーバー信号が出力されています。  
CAMERA ON : 電子シャッターモードになります。  
CAMERA OFF : 電子シャッターOFFになります。  
通常(電子シャッター不要)は、「CAMERA OFF」の位置でご利用ください。
- ⑭ タリールー [TALLY]  
撮影中の場合はこのランプが点灯します。(特殊効果装置より制御されます。)
- ⑮ 電源表示LED (赤色)
- ⑯ 電源スイッチ [POWER]
- ⑰ インターカム音量つまみ [INTERCOM LEVEL]  
インターカムコネクタに接続されたヘッドセットの音量を調整します。
- ⑱ インターカムコネクタ (M6ジャック)  
ヘッドセットを接続します。  
カメラとRCUおよび特殊効果装置間の相互通話ができます。
- ⑲ ロックつまみ [LOCK]  
ラックマウントフレーム(W2-LMW/88A)に取り付けられたときに右に回して本機を固定します。
- ⑳ レンズ絞り調整つまみ [IRIS]  
自動絞りのときは「AUTO」側に、手動絞りのときは「CLOSE」から「OPEN」まで手動絞り調整が可能です。  
※レンズ側のレンズ絞り選択スイッチが「A」側になっているとき動作します。(「REM」(リモート)のあるレンズの場合は「REM」側にしてください。)

## 後面

- ① S-VHS映像出力コネクタ
- ② スタジオケーンケーブルコネクタ
- ③ タリールー/インターカム入出力コネクタ
- ④ 映像出力コネクタ
- ⑤ ラインビュアー入力コネクタ
- ⑥ ゲンロック入力コネクタ

- ① S-VHS映像出力コネクタ [S-VIDEO OUT]  
(4ピンSコネクタ)  
輝度信号(Y)とクロマ信号(C)が出力されます。S-VHS方式のVTRや、ビデオ受像機などのS-VHS映像入りに接続します。
- ② スタジオケーンケーブルコネクタ [CAMERA]  
(32ピン)  
カメラからのケーブルを接続します。
- ③ タリールー/インターカム入出力コネクタ [TALLY & INTERCOM] (4ピン)  
特殊効果装置のタリールー/インターカム信号を接続します。



- ④ 映像出力コネクタ [VIDEO1・2]  
(BNCコネクタ)  
特殊効果装置、ビデオ受像機やVTRなどの映像入力に接続します。
- ⑤ ラインビュアー入力コネクタ [AUX IN・OUT]  
(BNCコネクタ)  
特殊効果装置からのラインビュアー信号を接続します。

**ご注意**  
OUT側コネクタに接続していないと50Ωで自動終端されません。終端する場合は必ずIN側に接続してください。

- ⑥ ゲンロック入力コネクタ [GEN-LOCK IN・OUT]  
(BNCコネクタ)  
他のシステムからの外部同期信号(ブラックバースト信号またはコンポジット信号)を接続します。

**ご注意**  
OUT側コネクタに接続していないと50Ωで自動終端されません。終端する場合は必ずIN側に接続してください。

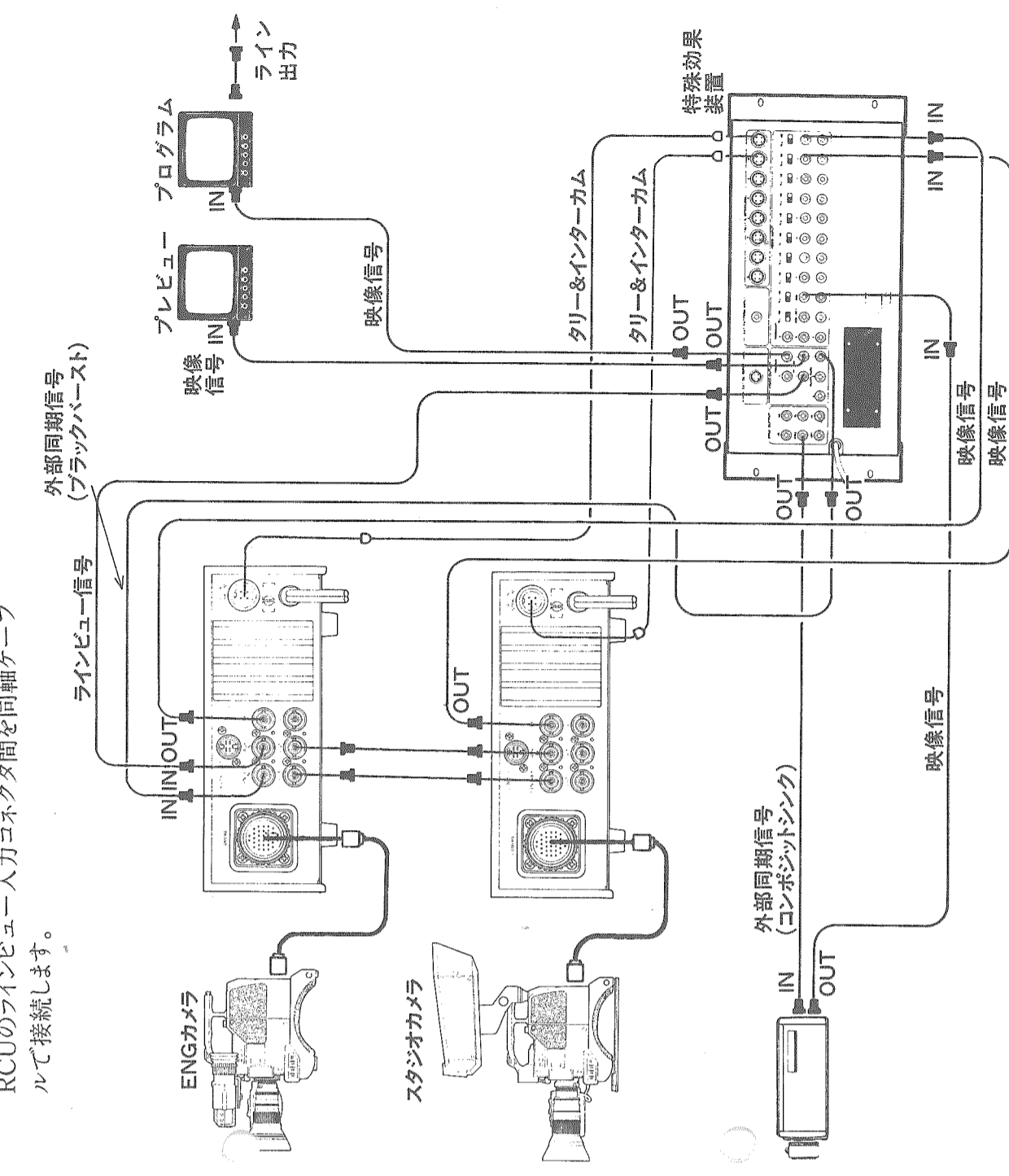
**ご注意**  
WV-LZ70/12の場合、手動絞り調整ができません。「AUTO」側にご使用ください。

# 接続のしかた

- カメラとRCU間をスタジオケーブルで接続します。
- RCUの映像出力コネクタ1と特殊効果装置などの映像入力コネクタ間を同軸ケーブルで接続します。
- 特殊効果装置などのブラックバースト出力コネクタとRCUのゲンロック入力コネクタ間を同軸ケーブルで接続します。
- 特殊効果装置などのエフェクト出力コネクタとRCUのラインビュー入力コネクタ間を同軸ケーブルで接続します。

## ご注意

- タリ-/インターカムを使用する場合はRCUと特殊効果装置間を4ピンケーブルで接続します。
- スタジオケーブルを使用すると最大約100mまで延長できます。このとき使用するケーブルの長さによりRCUのケーブル補償選択スイッチで選択します。



※RCU以外の内容については詳しくは、接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。

**オート/マニュアル選択スイッチ [AWC、ABC、MN]**  
ホワイトバランスを自動でセットするときは「AWC」に、ブラックバランスを自動でセットするときは「ABC」に、それぞれを手動でセットするときは「MN」の位置にします。

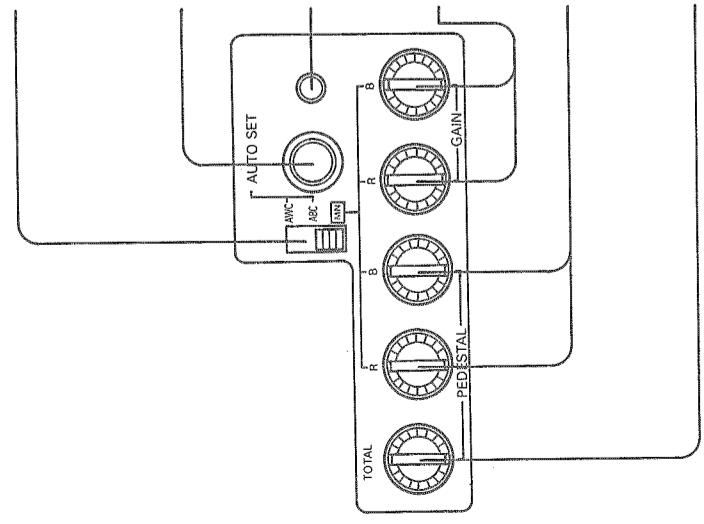
**オートセットスイッチ [AUTO SET]**  
ホワイトバランスやブラックバランスを自動でセットするときに使います。

**オートセット表示LED (緑色)**  
オートセット中LEDは点滅し、完了すると消えます。オートセット、このランプが消えなかった場合は、再度セットしてください。

**赤・青ゲイン調整つまみ [R・B GAIN]**  
オート/マニュアル選択スイッチを「MN」にし、ホワイトバランスを手動で調整するときに使います。

**赤・青ペダスタル調整つまみ [R・B PEDESTAL]**  
オート/マニュアル選択スイッチを「MN」にし、ブラックバランスを手動で調整するときに使います。

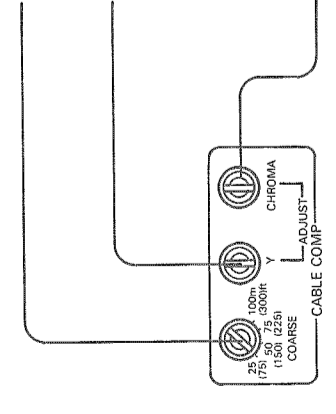
**トータルペダスタル調整つまみ [TOTAL PEDESTAL]**  
映像出力のペダスタル量を調整します。  
※オート/マニュアル選択スイッチがどの位置でも動作します。



**ケーブル補償選択スイッチ [COARSE]**  
スタジオケーブルの長さにより調整します。

**Yゲイン調整ボリューム [Y ADJUST]**  
S-VHS映像出力コネクタと映像出力コネクタの映像信号のYレベルを、使用するスタジオケーブルの長さに応じて微調整します。  
※この調整をする前にケーブル補償選択スイッチで選択してください。

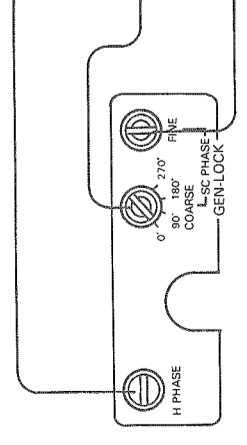
**クロマゲイン調整ボリューム [CHROMA ADJUST]**  
S-VHS映像出力コネクタと映像出力コネクタの映像信号のクロマレベルを、使用するスタジオケーブルの長さに応じて微調整します。  
※この調整をする前にケーブル補償選択スイッチで選択し、Yゲイン調整を行ってください。



**水平位相調整ボリューム [H PHASE]**  
カメラを2台以上同時に使うとき、ゲンロック入力と映像出力の水平位相を調整するときに使います。(10ページ参照)

**サブキャリア位相調整スイッチ [SC PHASE COARSE]**  
サブキャリア位相微調整ボリューム [SC PHASE FINE]

カメラを2台以上同時に使うとき、ゲンロック入力と映像出力の色位相を調整します。

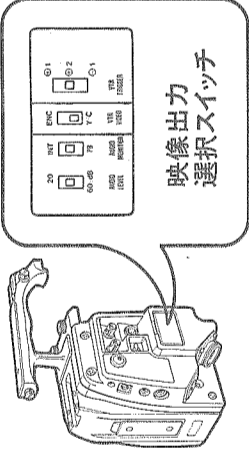


# 操作のしかた

- ①カメラの映像出力選択スイッチを切り換えます。
- WV-F70を接続する場合、カメラアダプタの映像出力選択スイッチを「Y/C」側に切り換えてください。

## ご注意

「R/G/B」、「Y/P<sub>R</sub>/P<sub>B</sub>」の位置にしますと、RCUのS-VHS映像出力コネクタおよび映像出力コネクタに正しい信号が出力されません。必ず「Y/C/B」の位置で使用してください。映像出力選択スイッチも同様に、必ず「Y/C」側で使用してください。



カメラケーブルの長さ	スイッチの位置
約25m以下	25m
約25～50m	50m
約50～75m	75m
約75～100m	100m

- ②カメラアダプタの電源選択スイッチを「VTR/RCU」側にします。
- ③RCUのケーブル補償選択スイッチを使用するカメラケーブルの長さに合わせて切り換えます。
- ④RCUのカラーバー・電子シャッターON/OFFスイッチを「BAR」にします。
- ⑤カメラの電源スイッチを「ON」にしてからRCUの電源スイッチを「ON」にします。
- ⑥RCUのYゲイン調整ボリューム、クロマゲイン調整ボリュームで映像信号のYレベル、クロマレベルを使用するカメラケーブルの長さに合わせて微調整します。

- ⑦RCUのゲンロック入力信号と映像出力信号の波形を2現象オシロスコープで観測し、水平位相が合うようにRCUの水平位相調整ボリュームを調整します。(10ページ参照)
- ※この調整は販売店に依頼してください。

- ⑧特殊効果装置のプログラム出力(スプリットされたカラーバー信号)をカラーモニターに接続します。特殊効果装置と色位相が合うようにRCUのサブキャリア位相粗調整スイッチおよびサブキャリア位相微調整ボリュームで調整します。(10ページ参照)
- ※この調整は販売店に依頼してください。

- ⑨RCUのカラーバー・電子シャッターON/OFFスイッチを「CAMERA OFF」側に切り換えます。
- ※電子シャッターでご利用のときは「CAMERA ON」側に切り換えます。

- ⑩光源の種類によりカメラの色温度フィルタを選びます。

光源の種類	色温度	フィルタNo.
室内 ハロゲンランプまたはタングステンランプ(スタジオ)	3,200K	1
内 蛍光灯(白色)	4,500K	3
内 蛍光灯(昼光色)	6,500K	3
屋 快晴のとき	4,500K	2
外 薄曇りのとき	5,000～6,000K	2または3
外 曇りのとき	7,000～7,500K	3

- ⑪RCUのゲインアップ選択スイッチを「0 dB」にします。

- ⑫レンズの絞り選択スイッチを「A」側にし、さらにRCUのレンズ絞り調整つまみを「AUTO」にします。

## ご注意

- レンズ絞り選択スイッチに「REM」(リモート)のあるレンズの場合は「REM」側にしてください。

- ⑬ブラックバランスを調整します。(9ページ参照)
- ⑭ホワイトバランスを調整します。(8ページ参照)

# 調整のしかた

## ホワイトバランス調整

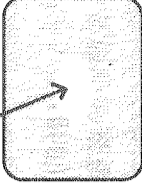
### ■自動調整(AWC)

- ①オート/マニュアル選択スイッチを「AWC」にします。
- ②白い被写体(白壁やハンカチなど)を電子ビューファインダ内の画面一杯に映します。

## ご注意

1. ホワイトセットするための白い被写体の大きさは映像エリアの10%以上を必要とし、電子ビューファインダの画面の中央に位置するようにして写します。また、光ったものなど高輝度の被写体が入らないようにしてください。
2. レンズを手動絞りモードにしたときはカメラのレベルインジケータON/OFFスイッチを「ON」にします。さらに電子ビューファインダ画面を見ながら白の部分にゼブラパターンにならないよう絞り調整をします。

白の部分が映像エリアの10%以上必要



- ③オートセットスイッチを押します。約2秒でホワイトバランスが自動的にセットされます。ホワイトバランスをセットしている間はオートセット表示LEDが点滅し、オートセット表示LEDが消えるとホワイトセットは完了します。また、オートセット表示LEDが点灯したままになっているときは、カメラの色温度フィルタの位置を確認した後、ホワイトバランスをセットし直します。

## ご注意

- この調整は電源を入れた後、電子ビューファインダ内の画像が十分にコントラストのついた状態を確認してから行ってください。さらにきめ細かな調整をする場合は数分程度たってから調整することをおすすめします。
- 被写体照度が不足した場合はホワイトバランスが正しくとれないことがあります。
- ホワイトセットはカメラ電源を切ってもカメラに内蔵のバックアップ用電池により長時間保持されています。被写体の色温度の状態がセットする前と変わらなければセットし直す必要はありませんが、設定条件が変わる場合(撮影場所が屋外から屋内に変わる、またはその逆など)はホワイトバランスをセットし直してください。
- RCUからカメラのAWC A/B, MANUALまたはP.SETの切り換えはできません。カメラ側のホワイトバランス選択スイッチにより切り換わります。自動調整時はAWC AまたはAWC Bでご利用ください。

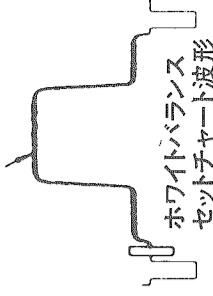
### ■手動調整(RCU側でのみ調整可能)

- ①オート/マニュアル選択スイッチを「MN」にします。
  - ②赤・青ゲイン調整つまみで映像出力信号の白の部分のキャリアが最小になるよう(または画像の白の部分が白になるよう)に調整します。
- [調整はオシロスコープまたはウェーブフォームモニターを使用]

## ご注意

- このとき、カメラ側のチェックスイッチを押し、チェック表示の確認を行うと「MANUAL」は出ません。カメラのホワイトバランス選択スイッチの位置を表示します(スイッチが「AWC A」側の場合、表示は「AWC A」となります)。

キャリアを最小にする



# 調整のしかた

## ブラックバランス調整

### ■自動調整(ABC)

RCUのオート/マニュアル選択スイッチを「ABC」側にし、オートセットスイッチを押します。レンズの絞りが閉じ、ブラックバランスが自動的にセットされます。ブラックバランスがセットされるとレンズの絞りは前の状態に自動的にもどります。ブラックバランスをセットしている間、RCUのオートセット表示LEDは点滅し、消えるとブラックバランスセットは完了します。またオートセット表示LEDが点灯したままになっているときはブラックバランスを再度セットしてください。

#### ●ご注意

- トータルペDESTALレベルはRCUのトータルペDESTAL調整つまみで調整できます。
- レンズの絞り選択スイッチを「M」側にしますと、ブラックバランスが正しく動作しないことがあります。



### ■手動調整(RCU側でのみ調整可能)

ブラックバランスは自動的にセットすることができますが、精度の高いブラックバランス調整が必要な場合は以下に従って行ってください。調整は販売店に依頼してください。(オシロスコープまたはウェーブフォームモニターを使用)

- オート/マニュアル選択スイッチを「MN」側にし、カメラの色温度フィルターを「4」にするか、またはレンズキャップをした後、赤・青ペDESTAL調整つまみで映像出力の黒の部分のキャリアが最小になるよう(または画像の黒の部分か黒になるよう)に調整します。

キャリアを  
最小にする



## トータルペDESTAL調整

複数のカメラのペDESTALレベルを合わせるときに調整します。

- 調整は販売店に依頼してください。(オシロスコープまたはウェーブフォームモニターを使用)
- トータルペDESTAL調整ボリュームでペDESTALレベルを調整します。

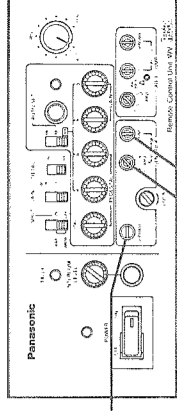


## ゲンロック調整

システムポータブルカメラまたはスタジオカメラとして使用する場合は、他の機器との位相を合わせるため、位相調整をすることがあります。

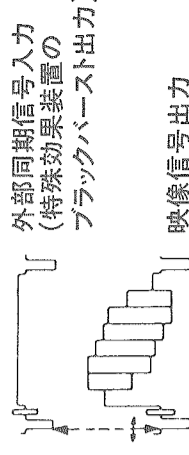
水平位相調整ボリューム

サブキャリア位相粗調整スイッチ  
サブキャリア位相微調整ボリューム



### ●水平位相調整

外部同期信号入力(ブラックバースト信号)と映像信号出力の波形を2現象オシロスコープで観測し、水平位相が合うようRCUの水平位相調整ボリュームをまわします。



### ●色位相調整

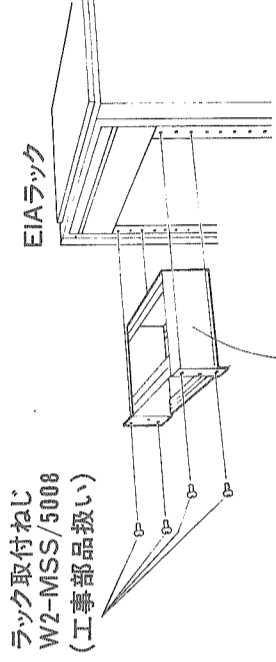
他の機器との色位相が合うようモニタ画面を見ながらRCUのサブキャリア位相粗調整スイッチおよびサブキャリア位相微調整ボリュームで調整します。

(サブキャリア位相粗調整スイッチで粗調整し、さらにサブキャリア位相微調整ボリュームで微調整します)  
※ベクトルスコープで色位相調整をしますとより精度の高い調整ができます。

# ラックマウントへの取り付けかた

### ①別売のラック取付ねじ(M5×8)でラックマウントフレームをEIAラックに取り付けます。

ラック取付ねじ W2-MSS/5008 (工事部品扱い)



### ②ゴム足を取り外しラックマウントフレームへ収納します。

※収納したときにロックつまみを右に回します。

